

平成27年度町政懇話会 議事概要

日 時：平成27年6月23日（火）

18時30分～20時

場 所：そうわ会館

出席者：間宮町長、露木副町長、夏苺教育長、川野企画財政課長、露木教育総務課長、横井副主幹、
立川主査

事務局：大澤町民課長、山本主任主事、小笹主任主事

参加者数：59人

1 開会

町民課長より開会のあいさつ

2 町長あいさつ

間宮町長よりあいさつ

3 出席者紹介

出席者よりあいさつ

4 テーマ別説明

(1) 第5次総合計画「おおいきらめきプラン」後期基本計画について、立川主査より説明

(2) 相和幼稚園・相和小学校の運営について、露木教育総務課長より説明

(3) マイナンバー制度について、横井副主幹より説明

【質疑・応答】

○ 前期基本計画でメガソーラーを誘致し、活性化したとなっているが、あの施設は、従業員は一人もない。雇用に繋がっていない。

相和小学校の生徒はかつて100人いたのが、現在では70人程になってしまっているので今後は非常に心配である。人口を増やしていく方策を考えてほしい。

第一生命が本社を構えていたときは、その税金は平地に投入されてしまい、相和地区には投資されてこなかった。相和地区は農地法のしほりから開発もできない。

今のブルックスは将来の計画が見えてこない。どういった相和地区の活性化を考えているのかが今日の話からは見えてこない。

→ 少子化は全国的な傾向でもあり、相和地区に限らず平地でも起きていることをまず理解していただきたい。こうして子どもが減っていることが人口の減少につながっている。

かつて第一生命が進出してくる時に、湘光園住宅を下山田に、第一生命入口を上山田に作るという話もあったが地域の理解を得られなかったという経緯もある。昔の相和地区の方々がどのように

判断したのかは存じ上げないが、都市計画法の網が掛かっている開発は困難な中、市街化調整区域でも企業誘致はできないか考え、その結果が、エバラの研究所や東京航空計器であった。東京航空計器は結果として進出を断念されたので、土地をそのままにせず、メガソーラーを誘致せざるを得なかった。

これまでの相和地区に対する投資は少なかったのかもしれないが、道路問題をはじめとして取り組んでいきたい。篠窪バイパスと町道4号線が接続し、また、東西連絡道路との接続などを考えると、4号線を県道に昇格させたいと考えている。これからも様々な事業を提案していく際には、是非、地域としてまとまっていただきたい。

- ブルックスの土地は市街化区域であり雑種地のはず。できることから取り組んでいただきたい。
→ ご提案としてお受けする。

- レンタルショップなどで個人番号カードを身分証明で使う際、マイナンバーを見られてしまったり、コピーをとられたりしてしまうのでは。また、お年寄りは簡単に見せてしまうのではないか。
→ マイナンバーの入手は法律で制限されるので、レンタルショップなどがマイナンバーを入手することは法律違反となる。番号はカードの裏面に記載してあるので、身分証明の際は表面だけを見せるように注意してほしい。ただし、提示する際に、故意でなくても相手は番号を入手してしまう可能性はあるので、コピー等させるおそれがある場合は注意してもらいたい。

- 紛失した場合の手続きは
→ 役場で手続きできます。カードは再発行し、不正使用のおそれがある場合には、違う番号をふりなおすことが可能。

- マイナンバー制度は国の制度か町の制度か。年金情報の漏えいが問題となっているが。大丈夫か。
→ 国で定められた制度である。これ以上の問題がなければそのまま施行される。住基カードのときは加盟しない団体もあったが、マイナンバーはすべての市町村が加盟している。

- 年金情報の漏えいが発生し、その対策がなされていない中、マイナンバー導入に町として国に抵抗することはないのか
→ 法律で定められたことなので、法令遵守していく。制度面、システム面での安全管理措置を徹底する。

- 町の広報でマイナンバーの周知をしているが、メリットだけ掲載し、デメリットが掲載されていない。町としてデメリットをどう認識しているか。
→ リスクは承知しているが、情報収集し、町からも情報発信して、リスクは最大限減らしていきたい。